

令和 6 年度心の問題と成長支援ワークショップ^o

募集要項

大学等の教職員を対象に、メンタルヘルスと学生対応に関する基礎的な講義や、グループワーク等による情報共有と討議等を通じ、現代学生の心の問題・成長支援に関する課題やニーズの理解を深め、学生の心のセーフティネットの更なる充実を促進することを目的として、大学・短期大学・高等専門学校の教職員を対象としたワークショップを開催します。

1. 開催日程・会場

会場	日程	会場
東京会場	7月30日(火) 11:00~17:40 7月31日(水) 9:00~16:40	日本学生支援機構 東京国際交流館 プラザ平成 (東京都江東区青海2-2-1)
大阪会場	9月25日(水) 11:00~17:40 9月26日(木) 9:00~16:40	天満研修センター (大阪府大阪市北区錦町2-21)

※時間帯は予定になります。

2. 募集定員

各会場 100名程度 (計200名程度)

3. 参加要件

次の要件すべてを満たす者

(1) 大学・短期大学・高等専門学校の教職員

(2) 次の内容について学びたい者

- 学生の心の問題と成長支援についての基礎的事項
- 学生課等の窓口対応や危機対応に関する知識・技能についての基礎的事項
- 保健管理センター・学生支援センター・学生相談室・ハラスメント委員等に必要な知識・技能についての基礎的事項

(3) 事前課題、事前学習に取り組むことができる者

(4) ワークショップの全日程を欠席、途中退室なく参加できる者 (一部のみ参加は不可です。)

4. 参加費

無料

5. 申込み

(1) 申込条件

各学校からの推薦によるものとします。学内で調整の上、お申込みください。

(2) 申込人数

いずれかの会場につき、1校1名の申込みになります。2つの会場に重複した申込みはできません。

(3) 申込方法

日本学生支援機構ウェブサイトからお申込みください。

URL : https://www.jasso.go.jp/gakusei/about/gakuso_mh/r6.html

詳しくは「申込方法について」をご参照ください。申込手続き完了直後に、手続きの完了を知らせる自動送信メールが届きます。必ず受信を確認してください。

(4) 申込期間

5月13日（月）11時00分から5月23日（木）16時00分まで

6. 参加者の決定

(1) 参加者の決定方法

申込みが募集定員を超えている場合は、令和5年度の参加校は対象外とした上で、過去に参加できなかった学校を優先し、残りの参加枠については抽選で決定します。

(2) 参加者の決定通知

申込期間終了後、申込者全員にメールにて決定内容を通知します（6月初旬以降予定）。

7. ワークショップ内容

別紙「カリキュラム」を参照

8. 期待される効果

- 学生支援に携わる機会の少ない教職員（初心者）が、心の悩みを抱える学生や、心理的発達に関連して困難を抱える学生に対し、様々な場面で初期対応が適切にできる。
- 心の悩みを抱える学生や、心理的発達に関連して困難を抱える学生に必要な支援につなぐために、関係者と連携・協力して対応できる。
- 所属校における組織のあり方や、学生支援方針を意識した支援に取り組むことができる。
- 既存の枠組みや固定観念から脱却し、新しい学生支援のあり方を考えることができる。

9. 連絡事項

- (1) 社会情勢の状況等により、対面形式からオンライン形式への変更や開催中止とする可能性があります。このことによる旅費のキャンセル料等の発生については参加者のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- (2) ワークショップ終了後のアンケートにご協力をお願いします。また、参加者及び所属大学等にフォローアップアンケートへのご協力を依頼することがありますので、あらかじめご承知おきください。
- (3) 参加申込時に入力いただいた個人情報は、本ワークショップの実施・運営に際し必要な名簿や資料等の作成及びアンケート調査等の実施に利用します。その他の目的には利用いたしません。
- (4) ワークショップ当日、スタッフが会場の写真撮影及び録音を行いません。撮影・録音した内容は本機構の事業報告の作成の参考資料、個人を特定できない状態でのウェブサイトへの掲載・広報、今後の研修事業の改善に活用するために利用します。その他の目的には利用いたしません。
- (5) 本ワークショップの配付資料の転用、録音・録画・撮影等は固くお断りいたします。
- (6) 参加に際し、合理的配慮（情報保障等）を希望する場合は、「申込方法について」を参照の上、具体的な内容をご入力ください。なお、ご希望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

「令和6年度心の問題と成長支援ワークショップ」カリキュラム

開催日	時間	形式	プログラム名	目的	内容
			事前学習	・メンタルヘルスの基礎知識、学生相談の目的・役割、危機対応について基本的な理解を習得し、ワークショップの効果を高める。	・発達障害・精神障害についての基礎知識 ・学生相談及び学内体制についての基礎知識 ・危機対応についての基礎知識
1日目		講義	事前課題（オンデマンド配信） ②メンタルヘルスの基礎知識（精神障害と発達障害）（60分）	・学生期によく見られる精神障害、発達障害等について、基礎的な知見と対応時の留意点などを理解し、メンタル不調の学生への学内における支援体制、職種間および外部医療機関との連携についても理解する。	・こころの病気—精神医学の考え方 ・青年期にみられる代表的な精神障害、発達障害について ・学内における支援体制—職種間及び外部医療機関との連携
	11:00-11:10		オリエンテーション		1日目開始挨拶
	11:10-11:30	講義・演習	①イントロダクション（20分）	・現代の学生の心理的特徴、学生相談の目的・役割について基本的な理解を得るとともに、本ワークショップの動機付けを高める。	・現代の大学等を取りまく状況と学生の心理的特徴 ・高等教育における学生相談の目的と役割 ・学生生活を理解する視点 ・本ワークショップの概要と目的
	11:30-12:00	講義	②メンタルヘルスの基礎知識（精神障害と発達障害）（30分）	・学生期によく見られる精神障害、発達障害等について、基礎的な知見と対応時の留意点などを理解し、メンタル不調の学生への学内における支援体制、職種間および外部医療機関との連携についても理解する。	・事前課題に対する補足講義
	12:00-12:20		③アイスブレイク（20分）	・各班に分かれ、メンタルヘルスの基礎知識、大学のカルト対策に関する感想や、所属校における学生相談・相談体制における課題を共有する。	・各班のメンバーとの自己紹介・情報共有
	12:20-13:20		昼食・休憩（60分）		
	13:20-16:00	講義・演習	④学生の成長を促す相談の乗り方（休憩込み160分）	・学生から相談を受ける際の心構えを理解するとともに、カウンセリングスキルの基礎演習を通して、学生対応の基本スキルを修得する。また発達に偏りがある学生の相談に乗るときの留意点について理解する。	・自己決定を促すカウンセリング ・支援のための方法論（理論編+実習編） ・発達に偏りがある学生への支援の留意点
	16:00-16:10		休憩（10分）		
	16:10-17:40	講義・演習	⑤学生相談体制の理解と関係者との連携（90分）	・支援のための様々な資源について理解する。また、関係者との連携の重要性・必要性を理解する。 ・保護者を含むすべての関係者と連携・協力しながら支援を実施する方法・ポイントを理解する。	・学生相談の3階層モデル ・各階層における支援のあり方 ・自校の学生相談体制の理解 ・学外資源についての理解 ・連携の重要性・必要性
	17:40		事務連絡		
	9:00-9:10		⑥アイスブレイク（10分）	各班に分かれ、ワークショップ1日目の感想を共有する。	・各班のメンバーとの情報共有
	9:10-10:20	講義	⑦ハラスメントへの対応（70分）	・ハラスメント等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。	・大学におけるハラスメントの実態 ・ハラスメントの判断基準 ・ハラスメント相談をする際の留意点 ・大学における有効なハラスメント相談・防止体制
	10:20-10:30		休憩（10分）		
	10:30-12:10	講義・演習	⑧危機対応（自殺予防対策）（100分）	・自殺等の困難案件について基礎的な知識・留意点を学ぶ。 ・自死リスクがある学生への対応についてロールプレイングを通して体験的な理解を深める。	・日本の自殺をめぐる状況 ・自殺と精神疾患 ・大学における自殺予防対策とポストベンション ・メンタルヘルス・ファーストエイド（初期支援について） ・ロールプレイング
	12:10-13:10		昼食・休憩（60分）		
	13:10-15:10	演習	⑨未来志向の学生支援（学生も教職員も元気になる企画・立案演習）（120分）	既存の枠組みや固定観念に捉われている自分に気づき、そこから脱却し、未来に向けた学生支援のあり方を模索する。	・学生も教職員も元気になるような取り組みについて、グループ討議を通して、多様な意見を取り込み、企画・立案する。
	15:10-15:20		休憩（10分）		
	15:20-16:00	演習	⑩アフメーション（気づきから見出す学生支援の指針）（40分）	・2日間のワークショップを振り返り、得られた気づきから、学生支援の指針を見出す。 ・今後活かすために、その体験を定着させる。	・内省を通して、感じたこと、気づいたこと、学んだこと、再確認したこと、支援の現場で実行したいことなどを、文字と声で表明する。 ・表明することで、自らの学生支援の指針を確認すると共に、他者と共有することで支援の幅を広げる。
	16:00-16:40	質疑	⑪質疑応答・まとめ（40分）	・参加者から提出のあった質問に対して回答することで、解決策等を参加者全員で情報共有する。 ・2日間のプログラムを通しての理解の確認と研修後、具体的にどのようなアクションを起こしていってほしいか、ヒントを得る。	・質問への回答 ・ワークショップ全体のまとめ
	16:40		事務連絡		2日目終了挨拶

※上記は予定であり、カリキュラム内容、時間の変更場合があります。